

ふりがな 氏名	せきもと あやこ	都道府県	兵庫県	
	関本 彩子			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸大学発達科学部人間表現学科 ・兵庫県青年国際交流機構幹事 			
私のESD活動	「兵庫県青年国際交流機構」を通じての国際交流や「音遊びの会」「表現コンサート」を通じての芸術活動			

活動の概要

内閣府青年国際交流事業「世界青年の船(SWY)」に参加し、その後 OB/OG 団体である兵庫県青年国際交流機構(兵庫県IYEO)で国際交流活動を行っている。2013 年から4年、会長を務め、海外青年の日本での交流やホームステイの企画・運営を行ったカフェでムスリムの青年にハラール料理を作った貰い、ムスリムへの理解を深めるイベントの企画など、国際理解を広めることに努めている。また、海外で行われる SWY の同窓会に参加し、エジプト・トルコ・フィジー・ペルーなどを訪れ、様々な国の青年と交流している。

2014 年からは神戸大学発達科学部に社会人として入学し、音楽やダンス・美術といった表現を学んでいる。神戸大学人間環境学研究科の大学院生が始めた「音遊びの会」という障害を持つ人とミュージシャンが即興音楽を行うグループに参加している。また、2016 年からは、発達科学部人間表現学科の学生を中心に行っている「表現コンサート」の立ち上げに携わり、大学内で音楽・踊り・美術の交わり合った催しを試みる学生の研鑽の場を作ると共に、コンサートが地域の人々の憩いの場となるように努めている。

誰もが自分らしく生き活きと暮らせる社会を目指して、国際交流や芸術活動を中心に活動している。

○「音遊びの会」 <http://otoasobi.main.jp>

○「神戸大学発達科学部表現コンサート」 <https://twitter.com/hyogenconcert>

今後の活動や協働への展望

私は日本の音楽・音文化を中心とする研究者を目指している。地域社会の中で身近にあった、民謡や祭の音楽の研究を進めると共に、今までやってきた国際交流活動や芸術活動を続けていきたいと考えている。日本の教育課程の中で削減されていっている音楽や美術を補えるような地域でのイベントを作っていき、多くの人に開かれたアートの創造に寄与していきたいと考えている。

ESD には様々な課題があるが、魅力的な個性を持つ地域の存在が欠かせない。地域を支えるのは、その地域の住民である。海外の魅力や、アートの魅力を元に住民参加型のイベントを企画して、地域の活性化を図っていきたいと考えている。

大学・大学院時代を過ごした北海道札幌市、現在住んでいる兵庫県、ワーキングホリディ中に滞在したアイルランド、ポルトガルといった場所に関わる活動に携わりたい。全国組織である日本青年国際交流機構の繋がりや、世界 40 カ国を訪問した経験があるので、地域とアート(特に音楽活動)・国際交流に関わることを中心の協働を考えている。